

平成28年度 事業報告書

社会福祉法人 洗心和合会

事業報告の概要

1 施設整備

(1) 地域小規模児童養護施設の設置について

名 称 地域小規模児童養護施設 若竹（わかたけ）
建物所在地 佐賀県三養基郡基山町大字小倉 987-2
構 造 木造 瓦葺 2階建 1棟
床 面 積 160平方メートル
定 員 6名
職員配置 3名
平成28年5月1日付け認可。

(2) 児童家庭支援センターの設置について

名 称 子ども家庭支援センター 和合（わごう）
建物所在地 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦 823-2
構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺
床 面 積 82平方メートル
職員配置 3名
平成28年4月1日付け認可。

(3) 備品倉庫及び書類倉庫の設置について

名 称 備品及び書類倉庫
建物所在地 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦 1170-5
構 造 アルミ製 3t box・2t box(物置用)
平成28年4月4日、4月15日に購入。

(4) 実習生宿泊場所の改装について

「グループホーム若竹」として使用していたアフターケア建屋1階居室部分について、平成28年12月5日にリフォーム済。実習生の宿泊施設として運用を開始しています。

2. 施設運営について

(1) 地域小規模児童養護施設の「若竹」の円滑な運営

年間を通して、定員である6名を常時在籍。担当職員を3名配置し、本園より主任職員、臨時職員のサポートを受けることにより、初年度の運営に関

して試行錯誤を繰り返し図る。国の基準を上回る職員配置ではあるが、運営に関して生活時間帯や子ども達の動向によって人員不足が見られました。

(2) 子ども家庭支援センター「和合」の円滑な運営

※詳細別紙 1 参照

(3) ショートステイ事業(子育て短期支援事業等)

平成28年度について、基山町を含む近隣6市町と子育て短期支援事業契約を結ぶ。

①年間利用状況に関して

ショートステイ実績

鳥栖市3家庭、久留米市8家庭、小郡市2家庭、日田市1家庭からの依頼4市から、延べ44名、延べ日数94日、児童の短期預かりを行う。

月平均3名の利用状況となっています。

(4) 児童中心主義をあげての権利擁護の推進

入所児童の権利やニーズを表明することが難しい場合が多い状況を踏まえて職員が代弁・養護する観点から、今年度はミニカウンセリング・逐語録とアセスメントを中心に外部講師を招いて研修を行っています。正しいアセスメントと子ども達の言葉を的確に綴っていくことを学ぶことで権利擁護の推進に努めてきました。

※詳細別紙 2 参照

(5) 小舎制の養育施設として、家庭的支援の研究と実践

従来の小規模グループホームに加え、地域小規模児童養護施設の運営を行うことによって、別地域での拠点作り・関わりや登校送迎に際して等、完全調理のため、新たな課題や人員配置と支援体制の問題があり、今後の職員配置等で増員の検討が必要と考えています。

(6) 食育調理研究と実践

従来からの手作りおやつ・各家での児童に対しての調理実習の提供に加えて、地域小規模児童養護施設若竹が完全調理のため、年度当初から若竹職員の調理指導のサポートを行う。食育・食の安全を含めて地域小規模での実践を行っています。

(7) 心理療法と生活臨床の協同を図る

心理職員と施設職員の協同を図り児童の心身の安定とケア効果の向上を目指す。

対象児童17名に対して、毎週及び隔週にて心理療法を実施。実施した内容について、随時、月2回のケースカンファ・部会を通してアセスメントや情報の共有化を図り、共同して養育にあたっています。

3. その他、主な事業の実施状況

- (1) 里親支援専門相談員の配置による働きかけの実施
里親支援専門相談員による児童相談所と連携した事業の実施。

① 平成28年度民間協働型里親制度普及促進事業

平成28年度民間協働型里親制度普及促進事業として県・児童相談所と事業業務委託契約を締結、年間を通して以下3回の里親推進フォーラムを実施。

10月	鳥栖市	講師	田尻由貴子氏	参加者	149名
12月	唐津市	講師	坂本博之氏	参加者	93名
2月	佐賀市	講師	ユージ氏	参加者	313名

年度を通して、里親フォーラムの告知・広報を各市町村に展開及び街頭啓発キャンペーンを展開しました。

本事業の契約金額は、4,593,167円となっています。

※詳細別紙 3参照

② 里親委託として

当施設入所児童1名を里親委託実施。

③ 施設入所児童家庭生活体験事業として

対象児童12名 委託家庭7家庭

夏期 5家庭 述べ児童14名実施

冬季 7家庭 述べ児童17名実施

④ 里親レスパイトとしてキャンプの実施

従来から継続されていた児童養護施設の子ども達を対象とした、青少年教育施設を利用した、集団生活における生活リズムやルールを基盤とした生活・自立促進プログラムに佐賀県の里子達を参加することにより里親に対してもレスパイトを図る。

(2) 「4歳児就学準備事業」

基山町委託事業 地方創生推進交付金事業「基山町ピカピカの1年生プロジェクト」の一環で、就学時の課題解消に向けた4歳児に対する就学準備事業。

本事業内容は、町内の4歳児に特性検査を実施し、各児の特性を把握することで、それぞれに合わせた就学への継続的支援プログラムを作成するという内容である。